

平成30年3月30日

八王子市長 石 森 孝 志 殿

八王子市役所環境マネジメントシステム 監査チーム

主任監査員 谷村 伸一

副主任監査員 青木 一浩

副主任監査員 江崎美枝子

八王子市役所環境マネジメントシステム監査 報告書

平成29年度八王子市役所環境マネジメントシステムの監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1 監査日程

平成30年1月22・24・25・29日、2月1・20日 計6日間

2 監査対象

市民活動推進部、総務部、税務部、生活安全部、子ども家庭部、保育園（千人、子安、津久田、富士見台、高尾 5園）、児童館（由木、中郷、浅川、松が谷、館ヶ丘 7館〔分館含む〕）、学童保育所（社会福祉協議会管理 34施設）、環境部、会計部、議会事務局、学校教育部、小学校（第一、第二、第三、第四、第五、いずみの森、第七、第八、第九、第十、中野北、清水、大和田、小宮、高倉、宇津木台、横山第一、横山第二、散田、長房、船田、館、山田、櫛田、緑が丘、元八王子、元八王子東、上壱分方、城山、貳分方、横川、恩方第一、恩方第二、元木、川口、陶鎔 全36校）

3 監査チーム

市民監査員（環境推進会議委員）15名、市民監査員（地球温暖化防止活動推進員）9名、環境専門家 1名、市職員（八王子市庁内環境調整委員会幹事会委員）14名

4 監査内容

八王子市役所環境マネジメントシステムにおいて、八王子市役所エコアクションプランを効果的に推進するため、各所管及び施設で環境配慮行動に直結した電気使用量の削減に向けて目標を設定し、環境配慮行動に取り組んでいる。この取り組みについて、環境推進監督者・環境推進責任者・環境推進員のそれぞれが役割を認識して取り組みができているかを確認するため監査を実施した。

5 監査結果

監査対象部等	評価
市民活動推進部	○
総務部	○
税務部	○
生活安全部	○
子ども家庭部	○
環境部	○
会計部	○
議会事務局	○
学校教育部	○
保育園 (千人、子安、津久田、富士見台、高尾 5園)	○
児童館 (由木、中郷、浅川、松が谷、館ヶ丘 7館 [分館含む])	○
学童保育所 (社会福祉協議会管理分 34施設)	◎
小学校 (第一小～陶鎔小 36校)	○

※保育園、児童館、学童保育所、小中学校はそれぞれ3グループに分け、3年に1グループずつ行う。

(1) 全体を通して

これまで八王子市環境マネジメントシステム (LAS-E) を 10 年続けてきて、平成 29 年度より新たに八王子市役所環境マネジメントシステムがスタートし、職員の意識が低下しないよう取り組みを行っています。監査の結果、環境配慮の意識が職員に根付くとともに、環境配慮をすることが当然のこととして行われており、概ね良好に実施されていると評価します。しかしながら、環境配慮行動が停滞している所管もあり、さらに高い意欲を持ち、環境配慮行動をする必要があると感じました。環境配慮行動をさらに 1 ステップ上げていくために、各所管において業務上の環境への影響を認識し、数値の見える化などにより現状を把握した上で、どのような取り組みができるのかを考え、高い意欲を持ってこれからも取り組んでください。

(2) 評価の状況

ア 全体評価

今回の監査は、全 9 部と保育園、児童館、学童保育所、小学校について実施しました。評価は、学童保育所が「特に優れている (◎)」、その他の部で「良好だった (○)」の評価でした。全体的に環境配慮の意識が浸透しており、朝礼等においてガイドラインの輪読の実施、紙の有効利用、ごみの排出抑制、エネルギー使用量の削減、節水対策、エコドライブ等に取り組む意識が根付いていました。環境への影響を認識しながら、この取り組みを職員全員が引き続き実施してください。

イ 個別評価

個別の各所管及び施設の取り組みについて「特に優れている (◎)」と評価した数は 11 個でした。

良い取り組みとして、各職員に対し環境配慮の意識付けをするために、どのように共通意識を持ち、全員が行動しやすいようにするかを、考えている例が多く見られました。また、「◎」にならなかったところでも、監査員が評価に迷うような良い取り組みがたくさんありました。引き続き 1 ステップ上を目指して取り組んでください。

「改善要望 (△)」および「勧告 (×)」と評価したところはありませんでした。ただし、環境配慮行動が停滞している所管や、冷暖房中の室温と設定温度の認識違いがありましたので、再度ガイドライン等を確認のうえ取り組んでください。

6 個別所見

(1) 特に優れている (◎)

対象名	評価	所見
市民活動推進部 協働推進課	◎	朝礼時にガイドラインの環境配慮行動の確認に関して、クイズ形式で行っています。クイズは、ただガイドラインに掲載されている環境配慮行動の内容について、答えるだけでなく、さらに何ができるかを答えています。毎回 2 名に当てて、1人は前日に予告してレベルの高い質問とし、もう 1 人は当日に当てるなど、工夫して実施していました。
子ども家庭部 子安保育園	◎	職員が多い中、職員全員で共通意識を持たせるため、電気のスイッチやコピー機などに印や掲示をして、視覚化しているのは評価できます。その結果、子どもたちも率先して環境配慮行動を行い、良い影響が波及しています。
子ども家庭部 学童保育所 第1ブロック	◎	空調効率を上げるため、フィルター清掃を週に 1 回職員が実施していることはなかなかできません。とても良い取り組みです。
子ども家庭部 学童保育所 第 2 ブロック	◎	子どもを預かるという意識の中、安全と節電の兼ね合いを考え、部屋の実温度を把握しながら管理していることは、とても良い取り組みです。
学校教育部 第七小学校	◎	前日の給食の残量を入力に掲示して、見える化をしています。子どもたちに給食を食べる目標設定をさせ、目標達成シールや完食シールなどで意識を啓発しています。
学校教育部 清水小学校	◎	前日の給食の残量を数値化して、各クラスへ知らせています。また、給食の残量は、畑の肥料として無駄にせず、その畑でできた野菜を給食で食べており、循環サイクルを意識している点もすばらしいです。
学校教育部 横山第一小学校	◎	校内を見回した際に、電気等が付きっぱなしだった場合に「チェックカード※」を渡しています。その結果によってペナルティを科しているようです。どこの学校でも気軽にできて良い取り組みです。 ※イエローカードのようなもの
学校教育部 緑が丘小学校	◎	環境に恵まれた学校で隣接の森を利用し、環境総合学習を行っています。1～6 年生に環境学習を行い、子ども達へ積極的に環境教育をしています。
学校教育部 元八王子東小学校	◎	賞味期限間近の食材を利用して「子ども食堂」を地域の方と共に実施しています。電気・ガス・水道の使用量が増加するかもしれませんが、ごみ削減等に非常に有効な活動と思われます。
学校教育部 式分方小学校	◎	随所に環境配慮の取り組みが見られましたが、特に環境についての目標を生徒に持たせて、自分から行動するよう教育することや、プールを 1 学期中に終わらせるようカリキュラムを組み、節水対策に取り組んでいます。環境問題に対し、非常に高い意欲を持って行動しています。
学校教育部 陶鎔小学校	◎	学校内の電気を、職員室で集中コントロールしており、職員室で消すこともできるが、校内放送で電気を消すよう促しているのは、意識付けにとっても良いことです。

(2) 総合コメント

対象名	所見
市民活動推進部	省エネ、省資源の取り組みが実施できています。施設利用者の年代や利用目的も多様である中で、各施設の特性に合わせて、出来る範囲の取り組みをしています。利用者を増やしながらも電力使用量を抑えるような取り組みを意識して、利用者への環境配慮の啓発などの実施を、これからも継続してほしいです。
総務部	全体的にどの所管も意識が高く、環境配慮行動が習慣化した状態で取り組んでいます。環境意識の向上に努めて、率先して実践しています。
税務部	市民から税金をいただく所管なので、特に資源を大切にしよう率先して推進しているとの環境推進監督者の発言に好感が持てます。 使用済み用紙を手帳のようにしてメモで使用しているなど、環境推進監督者が自ら実践しているところは評価したいです。
生活安全部	職員に対する環境マネジメントシステムの内容周知、環境配慮についての指示のもと、具体的な行動が十分になされています。職員外になる、消防団員(1400人、車輛89台)、青パト、他協議会への定期的、日常的な環境配慮行動の指導が実施されています。環境マネジメントシステムの活動は成熟期に入っていると考え、組織的な対処、継続の新鮮味を保ちながら進めていただきたいです。
子ども家庭部 (保育園・児童館・ 学童保育所を除く)	全体的に問題なく取り組んでいました。業務で近距離ならば自転車率先して使用しているなど評価できます。環境に関する情報を一枚の資料にまとめて、研修を実施しているなど意欲が感じられました。木育、食育、遊育など素晴らしい事業を行っていますので、環境推進監督者から今まで以上にアピールして、職員へ指導してください。
子ども家庭部 保育園 (千人、子安、津久 田、富士見台、高尾 5園)	多くの職員が時間制で入れ替わるような勤務体制の中、全員に伝わるようにどこの園も努力しています。自然体験などで、環境について子どもの頃から伝えることは大事で、子どもを通し、家庭への意識付けの普及が期待できます。また、緑のカーテンで育てたゴーヤの種を親に配付し、家庭への意識啓発をしている園もありました。 しかしながら、室内温度を設定温度(夏 28℃、冬 20℃)と勘違いしている園がありましたので、温度計を使用して室内温度を管理してください。
子ども家庭部 児童館 (由木、中郷、浅 川、松が谷、館ヶ丘 7館〔分館含む〕)	トイレトペーパーの芯や、納豆のパッケージなどを利用して工作に使うなど、子どもとともに環境活動を行っているという報告が、印象に残りました。 また、手作りのおやつが原因でガス使用量が増大したことがわかり、ガスを使用しないメニューを職員同士で検討している話があり、環境に対する意識が感じられました。
子ども家庭部 学童保育所 (社会福祉協議会 管理 34施設)	全体に取り組む姿勢、意欲は高いと感じました。他施設との連絡調整がよくされており、ガイドライン以外の情報を収集し、活用しようとしています。子どもに対して、環境の問題を伝えるために、掲示をわかりやすいように配慮することや、紙芝居や自然体験授業で、みどりがあるところないところを意識させていることは、高い意欲を感じました。

環境部	今年度、2年前に合格したLAS-E第3ステージ第3ステップから八王子市役所環境マネジメントシステムの運用に移り、適切に推進しています。部の柱となる環境基本計画の進捗管理を進める中で、部内での八王子市役所環境マネジメントシステムの各具体的行動を実施し、CO ₂ 削減に向けて行動しています。
会計部	本庁舎入口に近く、来庁者の目につく所管として、環境配慮の取り組みを市民に見られている意識を持ちながら、行っています。空調機の使用制限の実施(退庁1時間前)、市内金融機関への啓発、掲示や服装に工夫しています。これらの取り組みを継続的に続けてください。
議会事務局	議会運営上、議員の方々にも環境施策の判断材料の提供などを行いながら、遂行に努めています。議会で使用する資料もカラーコピー主体ということではなく、必要に応じて使い分けています。議会運営についてペーパーレス化は検討していますが、実現はなかなか難しいようで将来的な課題です。
学校教育部 (小中学校を除く)	実績報告書、事前書面調査及び環境配慮全般における質問では、特筆すべき点はなく、全ての所管で無難に取り組んでいるという印象を受けました。環境教育に携わる所管なので、ぜひ今後は今以上に、1ステップ上での取り組みや環境教育をアピールしてください。この所管に与えられている教育という、これからの子ども達への環境教育のレベルアップとともに環境に対する所管の熱意を高めてください。
学校教育部 小学校 (第三、いずみの森、第九、高倉、館、恩方第一)	各校の取り組みに差異はありますが、全体を通して前向きであり、評価できます。これらの取り組みは年々向上して良くなると思います。漏水対策をトリプルチェックで確認を行うことや生徒会を中心としてペットボトル・アルミ缶の回収を行うことで、生徒にも意識付けを図っています。取り組みに前向きな意見もあり、今後も進めていただければ良いと思います。
学校教育部 小学校 (宇津木台、長房、元八王子東、上壱分方、城山、式分方)	八王子市役所環境マネジメントシステムの各取り組みについて、十分対応しています。特に、デマンド監視システムにより電気使用量削減については、データの収集から分析まで十分に行っていました。
学校教育部 小学校 (第一、大和田、小宮、梶田、緑が丘、横川)	ガイドラインに基づき、各校電気使用量の削減に尽力したと思われまます。環境総合学習において、川の学習や学校林で環境教育をしており、子ども達に積極的に意識させています。

<p>学校教育部 小学校 (第二、第八、第十、中野北、横山第一、横山第二)</p>	<p>全体的に問題なく取り組んでいましたが、個々の取り組みには差が見られました。校長先生が電気の消し忘れなどを見つけたら、教員にチェックカードを渡すことや、子ども達に環境標語を提案させてコンペを行うなど、イベント的に環境教育を行っています。また、東京都水道局の水道キャラバンや、トヨタ自動車学校からの出前講座を導入するなど、の努力があり、評価できます。無難に取り組んでいる学校は、環境配慮行動を意識して1ステップ上を目指してください。</p>
<p>学校教育部 小学校 (第四、第五、第七、清水、散田、船田)</p>	<p>職員室で温度設定ができるので夏場の28℃設定は8割実施でき、また職員の会議等でエアコンの適正使用や電気の消灯などの節電対策は、徹底するように伝えています。子ども達も意識して消灯するように指導しています。3R対策で給食の残量などをデータで表すことや、それを肥料に利用し、野菜作りをして、サイクルさせる取り組みが素晴らしいです。</p>
<p>学校教育部 小学校 (山田、元八王子、恩方第二、元木、川口、陶鎔)</p>	<p>教員がとてよく工夫して取り組んでいます。もったいないという意識付けを行い、子どもたちも巻き込み楽しんで、取り組んでいます。電気使用量も2年前と比較して、どれだけ削減できたかを意識していました。1年生と6年生では、発達段階の違いにより差が出てしまいが、教員から子どもたちに活動を促しています。</p>